

平成25年 8月 8日

お知らせ

資料提供先：岡山県政記者クラブ
岡山市役所記者クラブ
倉敷市役所記者クラブ



旭川・高梁川においても水辺を整備した箇所 の水深測定を実施しました。

○実施日

旭川 平成25年7月25日

高梁川 平成25年7月31日

○測定場所

旭川 新大原橋付近水辺広場
(岡山市北区牟佐地先)

高梁川 総社水辺の楽校
(総社市富原地先)
きよね水辺の楽校
(総社市清音地先)

○測定結果

同じ河原の周辺でも場所により川底の状態が「なだらか」であったり、「急に深く」なっていたり、流れの速さが違っていたりと様々に変化していることがわかりました。次ページ以降に測定記録を掲載しています。水辺利用にあたっては十分注意してください。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

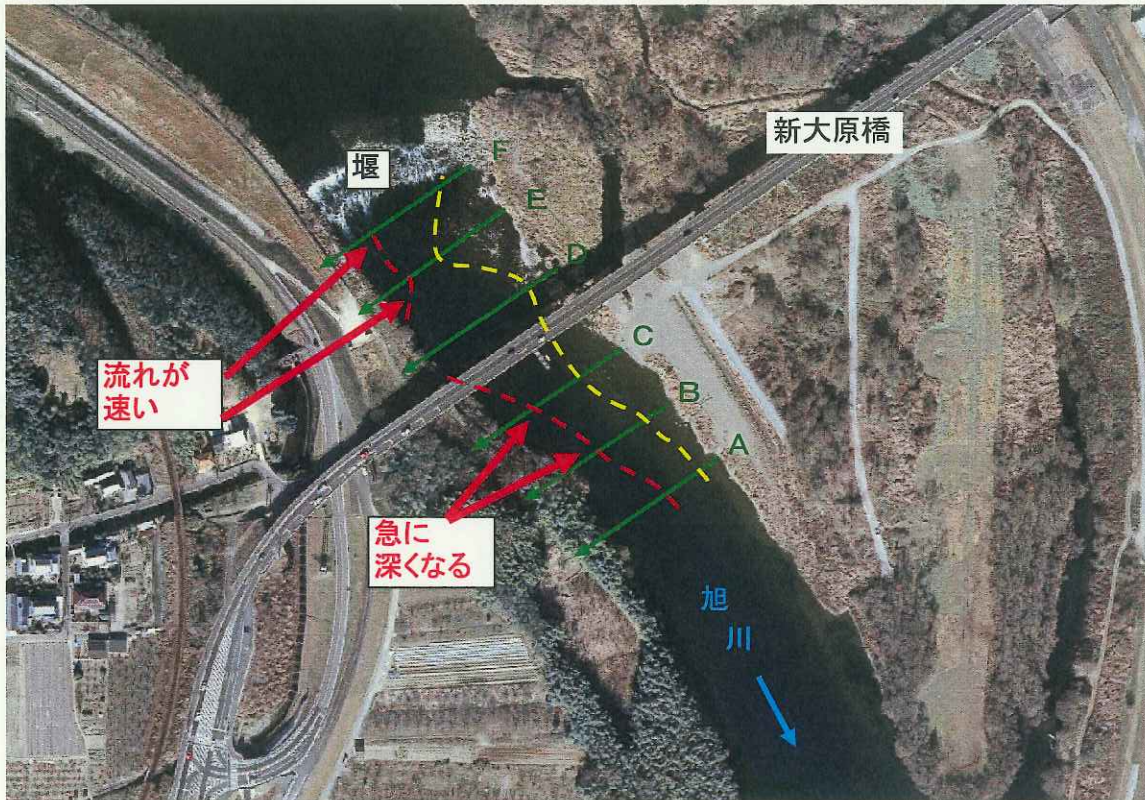
電話 086-223-5101 (代表)

副所長(技術) 笹岡 総一

管理第一課長 國本 哉智

水深等測定記録(新大原橋付近水辺広場)

水際からの距離の凡例
 - - - 水深1.0mの位置
 - - - 水深0.5mの位置



点検結果表 (平成25年7月25日)

区分	水際からの距離 (m)		流れの速さ (速い・ゆるやか・ほとんど)		川底の状態	
	水深0.5m	水深1.0m	水深0.5m	水深1.0m		
A	3.0	18.5	ゆるやか	ゆるやか	なだらか	砂利
B	4.5	32.0	ゆるやか	ゆるやか	急に深くなる	砂利
C	14.3	34.8	ゆるやか	ゆるやか	急に深くなる	砂利
D	8.0		ゆるやか	ゆるやか	なだらか	砂利
E	30.2	45.0	ゆるやか	速い	なだらか	砂利
F	12.7	49.1	ゆるやか	速い	なだらか	砂利

水辺利用にあたっての注意事項

- 川底の状態は常に変化しますので、計測した時とは変わっていきます。
- 水面の上からでは川底の状態はわかりません。水深も変化します。川に入る時にはライフジャケットなどを着用しましょう。
- 同じ河原の周辺でも場所により川底の状態が「なだらか」であったり、「急に深く」なっていたり、流れの速さが違っていたり様々に変化していることがわかりました。
- 川の中を歩くときは、すり足でゆっくり足を出し、川底のようすを足で探りながら歩きましょう。
- 堰、橋脚などの人工構造物の周辺では複雑な流れが発生して、川の水圧を受けて動けなくなってしまうことがあるので、近づかないようにしましょう。

水深等測定記録（総社水辺の楽校）

水際からの距離の凡例
 - - - 水深1.0mの位置
 - - - 水深0.5mの位置



点検結果表（平成25年7月31日）

区分	水際からの距離 (m)		最深部深さ (m)	流れの速さ (速い・ゆるやか・ほとんど)		川底の状態	
	水深0.5m	水深1.0m		水深0.5m	水深1.0m		
A	3.0	16.4		ほとんどない	ほとんどない	なだらか	泥・砂
B	2.2	11.7		ゆるやか	ゆるやか	急に深くなる	玉石まじり砂
C	1.1		0.7	ほとんどない	ほとんどない	なだらか	玉石
D	2.0		0.8	ほとんどない	ほとんどない	なだらか	玉石
E	1.6		0.7	ほとんどない	ほとんどない	なだらか	玉石
F	0.7	3.7		ほとんどない	ほとんどない	急に深くなる	玉石

水辺利用にあたっての注意事項

- ・川底の状態は常に変化しますので、計測した時とは変わっていきます。
- ・水面の上からでは川底の状態はわかりません。水深も変化します。
川に入る時にはライフジャケットなどを着用しましょう。
- ・同じ河原の周辺でも場所により川底の状態が「なだらか」であったり、「急に深く」なっていたり、流れの速さが違っていたり様々に変化していることがわかりました。
- ・川の中を歩くときは、すり足でゆっくり足を出し、川底のようすを足で探りながら歩きましょう。

水深等測定記録 (きよね水辺の楽校)

水際からの距離の凡例

- - - 水深1.0mの位置
- - - 水深0.5mの位置



点検結果表 (平成25年7月31日)

区分	水際からの距離 (m)		最深部深さ (m)	流れの速さ (速い・ゆるやか・ほとんどない)		川底の状態
	水深0.5m	水深1.0m		水深0.5m	水深1.0m	
A	10.4		0.5	速い		なだらか 玉石
B			0.4			なだらか 玉石
C			0.45			なだらか 玉石
D	4.0	22.3			ゆるやか	なだらか 玉石

水辺利用にあたっての注意事項

- ・川底の状態は常に変化しますので、計測した時とは変わっていきます。
- ・水面の上からでは川底の状態はわかりません。水深も変化します。川に入る時にはライフジャケットなどを着用しましょう。
- ・同じ河原の周辺でも場所により川底の状態が「なだらか」であったり、「急に深く」なっていたり、流れの速さが違っていたりと様々に変化していることがわかりました。
- ・川の中を歩くときは、すり足でゆっくり足を出し、川底のようすを足で探りながら歩きましょう。
- ・橋脚などの人工構造物の周辺では複雑な流れが発生して、川の水圧を受けて動けなくなってしまうことがあるので、近づかないようにしましょう。